

県労連 あおもり

2017年3月5日 第318号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234
発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

大幅賃上げ社会保障で生活の向上を — 17春闘勝利決起集会 —

2月18日青森市で県春闘共闘会議主催の「17春闘勝利決起集会」が開催され、県内各地から60名が参加しました。集会の冒頭、県労連結成から6年間議長を務められ逝去した飯田洋一さんの冥福を祈って黙祷しました。奥村春闘共闘会議議長は今春闘の意義について、大幅賃上げ、1000円以上への最賃引き上げとともに年金・医療・介護・生活保護などのセーフティーネットの確立が急務であることを強調しました。

2月14日、政府の「働き方改革実現会議」が開催され、「時間外労働の上限規制について」の政府案が示されました。長時間労働の末に過労自殺した大手広告「電通」の女性労働者が労働災害として認定され、社会的な問題となりました。現在、時間外労働規制については、厚生労働大臣告示で、月45時間、年360時間の上限基準を示していますが、労使協定を結ばば青天井となっています。「働

残業月一〇〇時間も？ 政府過労死容認

き方改革実現会議」の議論には、大臣告示に沿った「実効ある上限規制」に期待が集まっています。しかし、政府案では、大臣告示の2倍にあたる年間720時間(月平均60時間)まで認め、繁忙期には過労死ラインまで容認する内容となりました。現在の労災認定基準は「月100時間又は月80時間を2か月」となっていますが、会議では月100時間を上限とすることも検討されまし



会場いっぱいの春闘学習会

「前回、人であり続けるために主権在民を何としても守り抜きたい」と書いた。あれから半年、イギリスがアメリカ力とマスコミが取上げ、識者がコメントする。安倍のコメントたるや、愚衆と見下したものでばかりだ。今私が一番知りたいのは「圧倒的な民が、これだけ虐げられているのに、何故境遇に『甘んじて』いられるのかだ。■マスコミを丸ごと抱き込み、自ら知らうとしない限り得られない情報。これから丁寧に説明します。」は、常套句だ。身に降りかかる悪法の数々。比較の中の生活になれ、相対的な幸福で満足するよう躰けられた国民。小田原市だけでない、公務の職場からの憲法欠如。私たちの知らないところで、起こっているであろう、日常としての強者の論理の押し付け。自覚なくお先棒を担ぐ自分。それらをはじめとするありとあらゆることが総動員され、階層間の対立構造を着実に築いてきた。■テロ対策とか「一」を指します。・・・つくり出す」という、国民の大多数を苦しめる政策の説明が、これまた耳障りがないのか支持率は下がらない憲法条文に触れる機会のない人が圧倒的なら、丸ごと手渡し、考えてもらうことをしよう。ネットは、待っている人には届かない。えげつない、毒々しい言葉を吐く人が優位に立つ。(立)



発言した4人のシンポジスト

17国民春闘アピールを採択した後、猛吹雪をうけて県庁までデモ行進、「大幅賃上げで景気の回復を」「軍事費を削って福祉にまわせ」などを唱和しました。

の違法性を問う青森年金裁判の意義、県生健会事務局長の神江美さんは生活保護費引き下げ撤回を求める「いのちのとりで青森アクション」の結成、県教組・教育厚生会教育相談室長の工藤ふみさんは子どもの貧困問題について発言しました。高教組の逢坂さんは県内高校生の自衛隊入隊の割合が全国一高いことをあげ、アメリカのような経済的徴兵制に拡大する危険性を指摘しました。

八戸市営バス労組 一時金一・四月獲得!

2月22日、八戸市交通部は八戸市営バス労働組合に対して、「平成29年度から嘱託職員へ一時金1・4月を支給する」と回答しました。11月に要求書と職場で取り組んだ一時金署名を提出し、残業に頼らないで生活できる賃金を、人員確保のためにも格差是正を一時金(4・05月)の支給を求めた結果、ゼロだった一時金の支給が来年度から実現しました。労組は昨年6月、嘱託職員の差別的扱い改善を求めて結成されました。職員の8割が嘱託という職場で、働きやすい職場をめざし、ドライブレコーダーの設置やバス転回場所等について成果を上げた。長時間労働の是正というならば、継続審議となっている「残業代ゼロ」法案を撤回すべきです。野党4



団体交渉に臨む八戸市営バス労組

を報告、「勇気を持って組合づくりに立ち上がったことが職場の空気を変えたと思う。要求にはとどかないが一時金支給の回答は評価できる」と発言し、出席者から拍手を受けていました。(三八地労連・新岡武信)

17春闘学習会 を開催

中弘南黒地区労連 1月26日、生協ホールで30名の参加のもと春闘学習会を開催しました。講師は県労連檜山事務局長で労働法制改悪の内容について講演しました。三八地労連 2月8日、教組組合事務所春闘学習会を開催、県労連今副議長が労働法制改悪について報告しました。西北五地区労連 1月27日、春闘旗開きに先立って檜山事務局長を迎えて春闘学習会を開催、29名が参加しました。

初代議長・飯田洋一氏逝去 1989年青森県労連を結成した時の初代議長として活躍された飯田洋一さんが京都市内の病院で逝去されました。飯田さんは、高教組委員長や統一労組代表委員を経て、県労連議長を6期つとめ、99年には知事選挙に立候補し奮闘しました。ご冥福をお祈りします。

